

(特非) あきた菜の花ネットワーク

青少年によるエコタウン事業実践のための 環境プログラムの開発

イベントの 延べ参加者数	550 人
環境学習会 年 2 回以上	6 回
活動の全体目標 に対する達成度	80%



環境学習プログラムプレ講義

◆成果と工夫したポイント

●成果

最終的な環境学習プログラムを完成させ、2月に出前講義を行った。秋田県内の小学校5校を予定し、全体数約300名に対して講義を行った(1校は中止)。

●工夫

4年生、5年生向けで講義の度に改良・工夫をし、講義を行うごとにわかりやすくなっていった。

課 題

自治体ではエコタウン事業や再生可能エネルギーの利用促進などの取組みが進められている一方で、中心にあるべき市民の間では認知されているとは言い難い現状がある。

目 標

地域の小学生と若い世代(大学生)が、自分たちの身近な地域から地球環境のことを考え、自分たちの住む地域の環境関連の取組みを知り、日々の行動を変えるきっかけとなる環境学習プログラムの作成を行い、実践する。

活動内容

「資源循環・再生利用」の重要性を伝えるメニューとして、「生ごみ・家畜排泄物の堆肥化」や「菜の花資源循環」に焦点を当て、取組みの意義を伝えるための内容を大学生が考案し、環境イベントにおいて出展・披露した。

環境学習プログラムの構築と普及活動を組み合わせながら進め、環境イベントや出前講義の機会に実践・講義を行った。その過程を通じて生じた問題点を洗い出し、解消に努めながら、プログラムを完成させた。

達成できなかったこと

年度末ということもあり、完成した環境学習プログラムを各市町村に小学生用教材として提供できなかった。

今後の展望

小学校側の強い希望もあり、出前講義(環境学習会)を継続していくことになった。



環境学習プログラム
実践出前講義